

「生物安全実践講習会」を紹介する記事が掲載されました。

感染対策基礎から

衛生管理も生物安全実践講習会

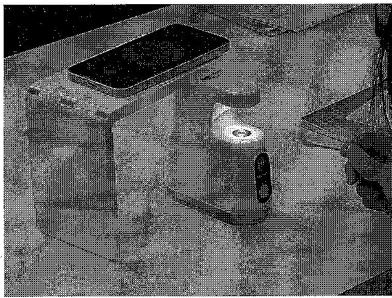
ルイ・バスタードール 考え方をベースとして
医学研究センター(吉川敏一理事長)と機能水
研究振興財団(堀田水研究振興財団)は、9月26日、大阪府摂津市の二
フロホールで生物安全実践講習会(PBF)の第6回基礎コースを



矢野寿一 奈良県立医科大学教授

機能水研究振興財団

「基礎コース」は、感染症の原因となり得る病原体と受動的または能動的に感染する人々を対象とした「実践コース」は、感染症や



プレパラート作成が不要な小型顕微鏡などを体験

別な事案に関わる人を対象とした「特別コース」など、受講者の立

による感染症概論、大阪医科大学医学部の中野隆史氏とルイ・バスタードール医学研究センターの具成旭氏による病原菌概論(細菌およびウイルス)、東京医療保健大学の岩澤篤郎氏と堀田元氏による感染防御概論(感染経路対策および消毒・滅菌)などの講義が行われた。また、PBFでは感染症対策の第一人者による特別講演も好評で、今回は薬剤耐性菌出現の実態調査やメカニズム解明などを研究テーマとする奈良県立医科大学の矢野寿一教授が、ワンヘルスの考え方や薬剤耐性菌に関する最近の動向などを解説した。感染症対策では、適切な手洗いや環境の清潔な維持(適切な洗浄・消毒)、防護員の適切な着脱などが基本対策となる。基礎コースでは実習も重視しており、サラヤの手洗いチェッカー(蛍光ロシヨンとフラックライト)を用いた手洗い効果の目視確認ツール、mp1-1(マイクロプレートリーダー)を用いた検体の検査は、食品工場や厨房の衛生点検や衛生教育、HACC Pの基礎となる一般衛生管理の構築などでも幅広く活用されている。(立石昌)